

《 疾病別 推移グラフ 》

《 月別 集計コメント 》

(週全数報告) せきエボてくと

第36週 (R5.9.4~R5.9.10)

■ 今週のトピックス

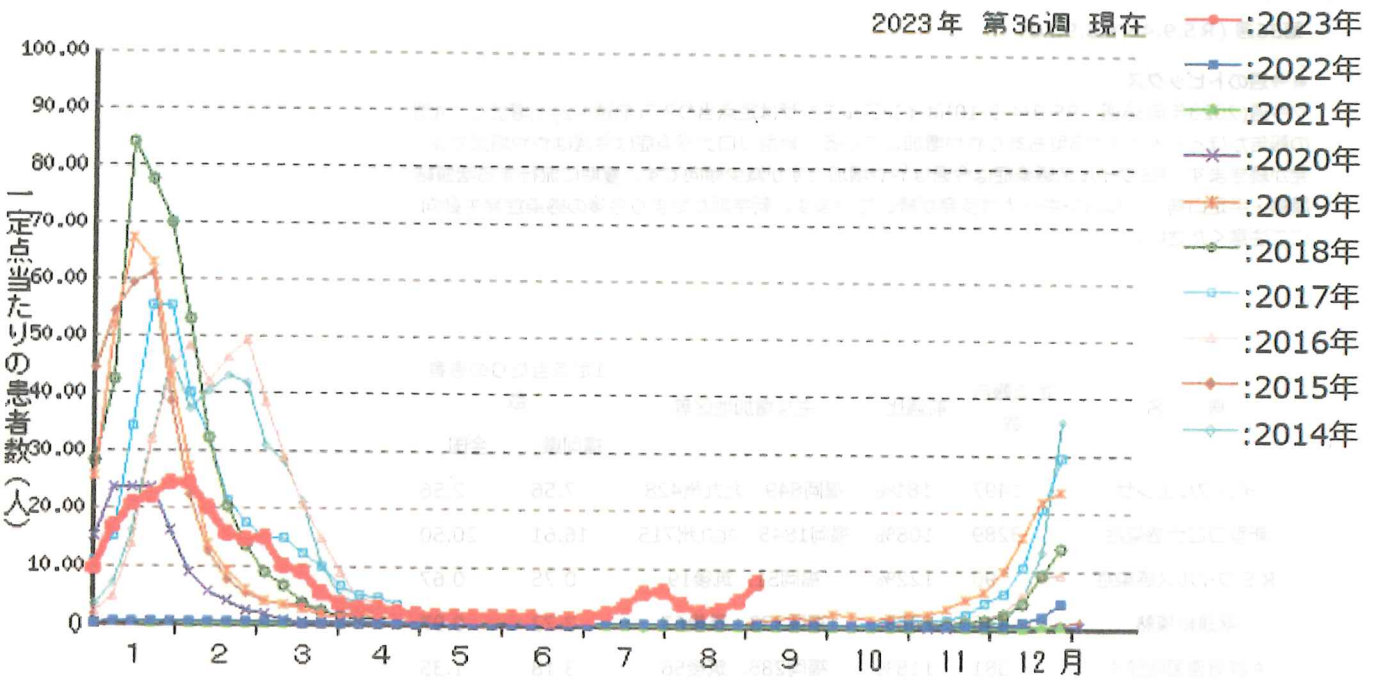
▽今週(2023年第36週: R5.9/4-9/10)はインフルエンザは定点当たり7.5(前週4.2)と増加し、A型の報告がほとんどですがB型もありやや増加している。新型コロナ感染症は今週はやや増加で多発が続きます。RSウイルス感染症は今週はやや増加ですが減少傾向です。夏期に流行する咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナは多発が続いています。新学期が始まり今後の感染症発生動向にご注意ください。

病名	定点報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	1497	181%	福岡849、北九州428	7.56	2.56
新型コロナ感染症	3289	108%	福岡1845、北九州715	16.61	20.50
RSウイルス感染症	90	122%	福岡51、筑後19	0.75	0.67
咽頭結膜熱	446	138%	福岡333、筑後67	3.72	0.97
A群溶連菌咽頭炎	381	118%	福岡286、筑後56	3.18	1.35
感染性胃腸炎	549	126%	福岡215、北九州157	4.58	3.19
水痘	23	+5	福岡20、筑後2	0.19	0.08
手足口病	465	92%	福岡199、筑後111	3.88	1.34
伝染性紅斑	3	±0	筑後2、福岡1	0.03	0.02
突発性発しん	38	78%	福岡20、筑後8	0.32	0.27
ヘルパンギーナ	363	95%	福岡180、北九州114	3.03	1.07
流行性耳下腺炎	8	+1	筑後3、福岡3	0.07	0.05
川崎病(MCLS)	7	-1	筑豊3、北九州2	0.06	
マイコプラズマ肺炎	1	±0	北九州1	0.01	0.03
クラミジア肺炎	0	±0		0.00	
細菌性髄膜炎	0	±0		0.00	0.01
無菌性髄膜炎	0	-1		0.00	0.04
急性脳炎	0	±0		0.00	
急性出血性結膜炎	0	±0		0.00	0.01
流行性角結膜炎	39	126%	筑後17、福岡17	1.50	0.60
性器クラミジア感染症	32	91%	福岡18、筑豊5	0.86	
性器ヘルペス	18	+5	福岡14、筑後2	0.49	
尖圭コンジローマ	8	-2	福岡4、筑豊2	0.22	
淋菌感染症	5	-7	筑後4、福岡1	0.14	

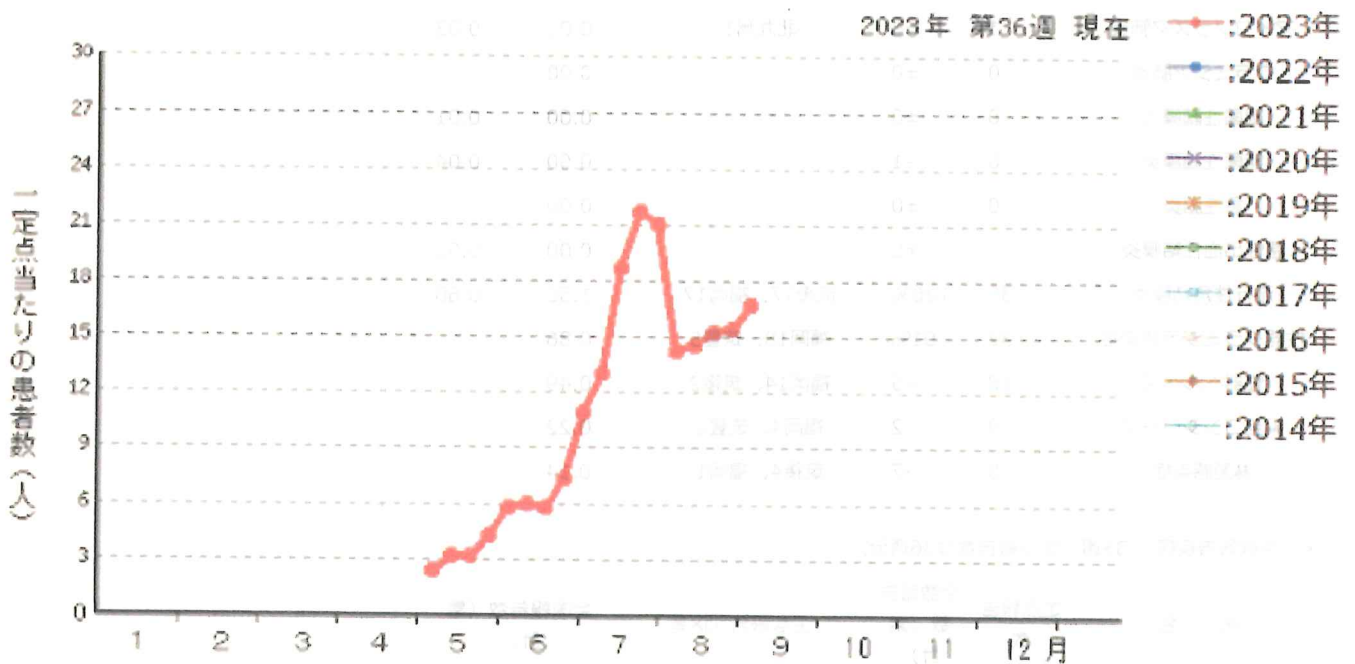
※ 全数報告疾病 35週 (定点報告数は36週分)

病名	定点報告数	全数報告数(累計)	主な報告地区等	全国報告数(累計)
百日咳	0	0(19)		11(631)
風しん	0	0(1)		1(11)
麻疹	0	0(0)		2(25)
梅毒	2	22(588)	福岡18、北九州3	207(10110)

■インフルエンザ (福岡県全域)

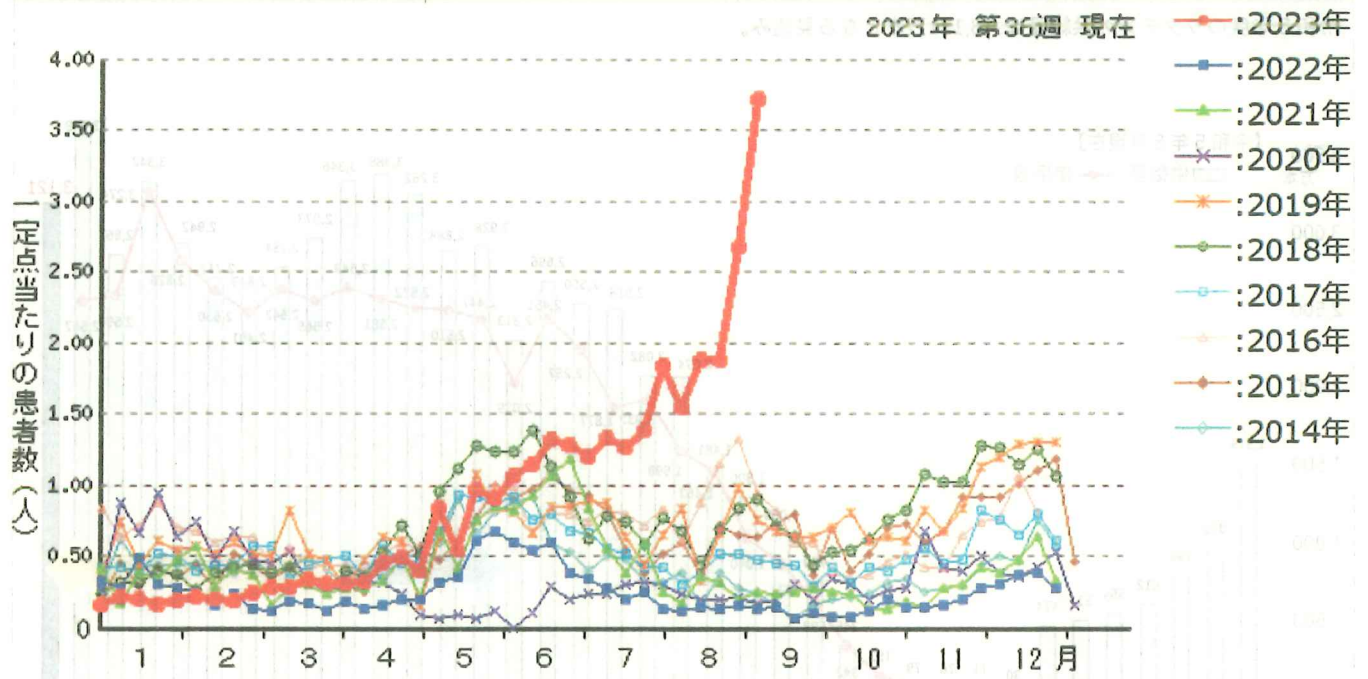


■新型コロナウイルス感染症 (福岡県全域)



■咽頭結膜熱（福岡県全域）

2023年 第36週 現在



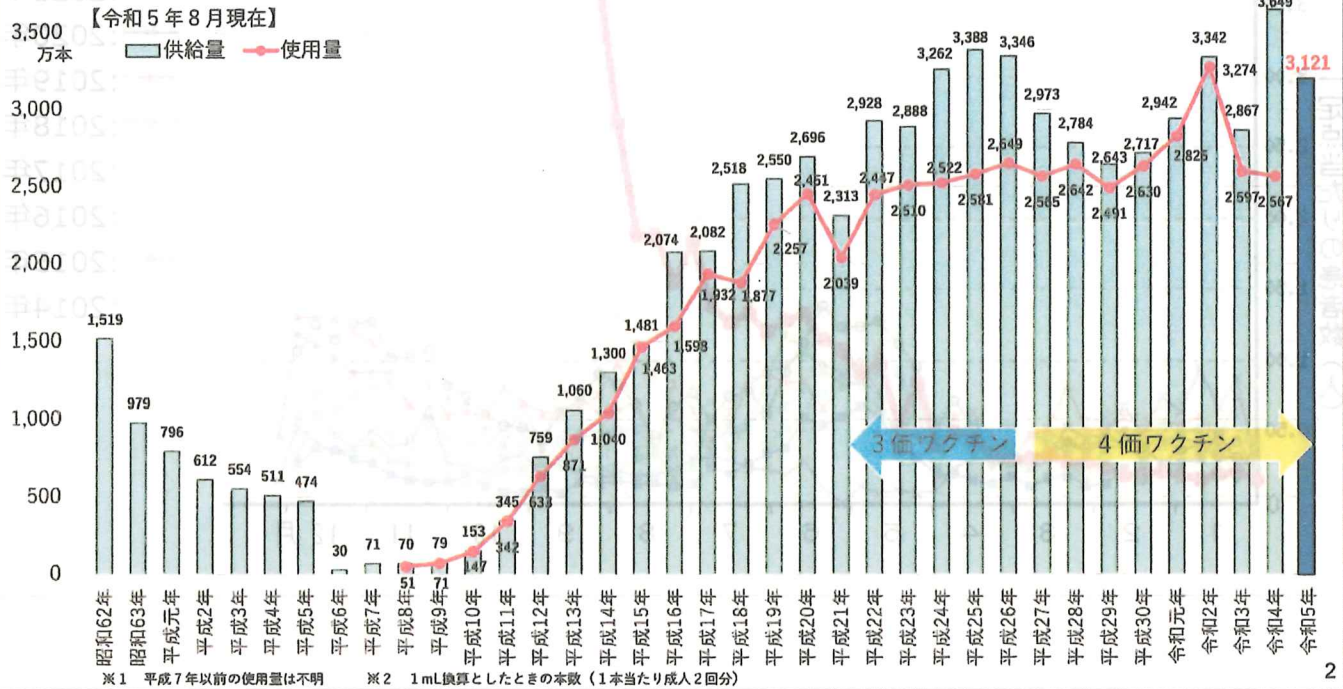
新型コロナウイルス感染症の発生状況（福岡県）

【2023年 第36週 現在】



インフルエンザワクチンの供給量の年次推移

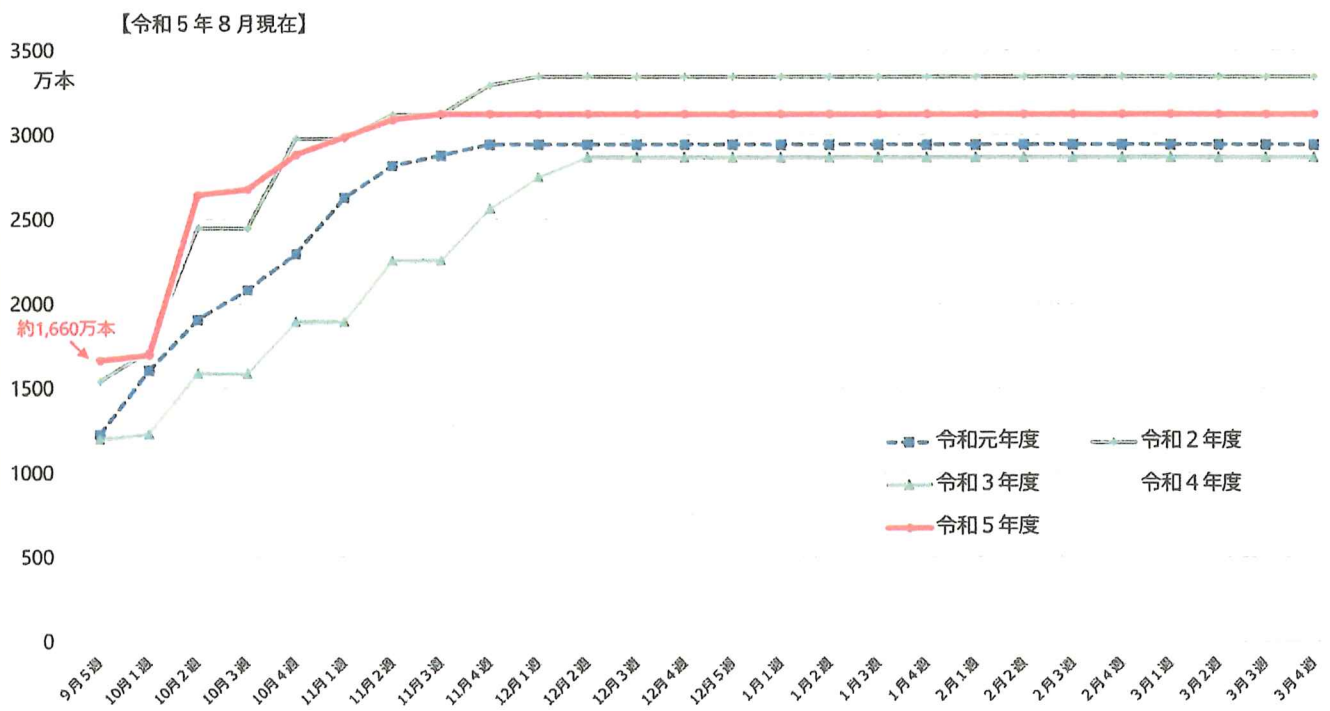
令和5年度のワクチンの供給量は、3,121万本となる見込み。



2

インフルエンザワクチンの累積供給量 (週次)

令和5年度は9月末の時点で、年度内の供給量の半数を上回る約1,660万本が出荷される予定。



3

9月20日から

希望するすべての方を対象に

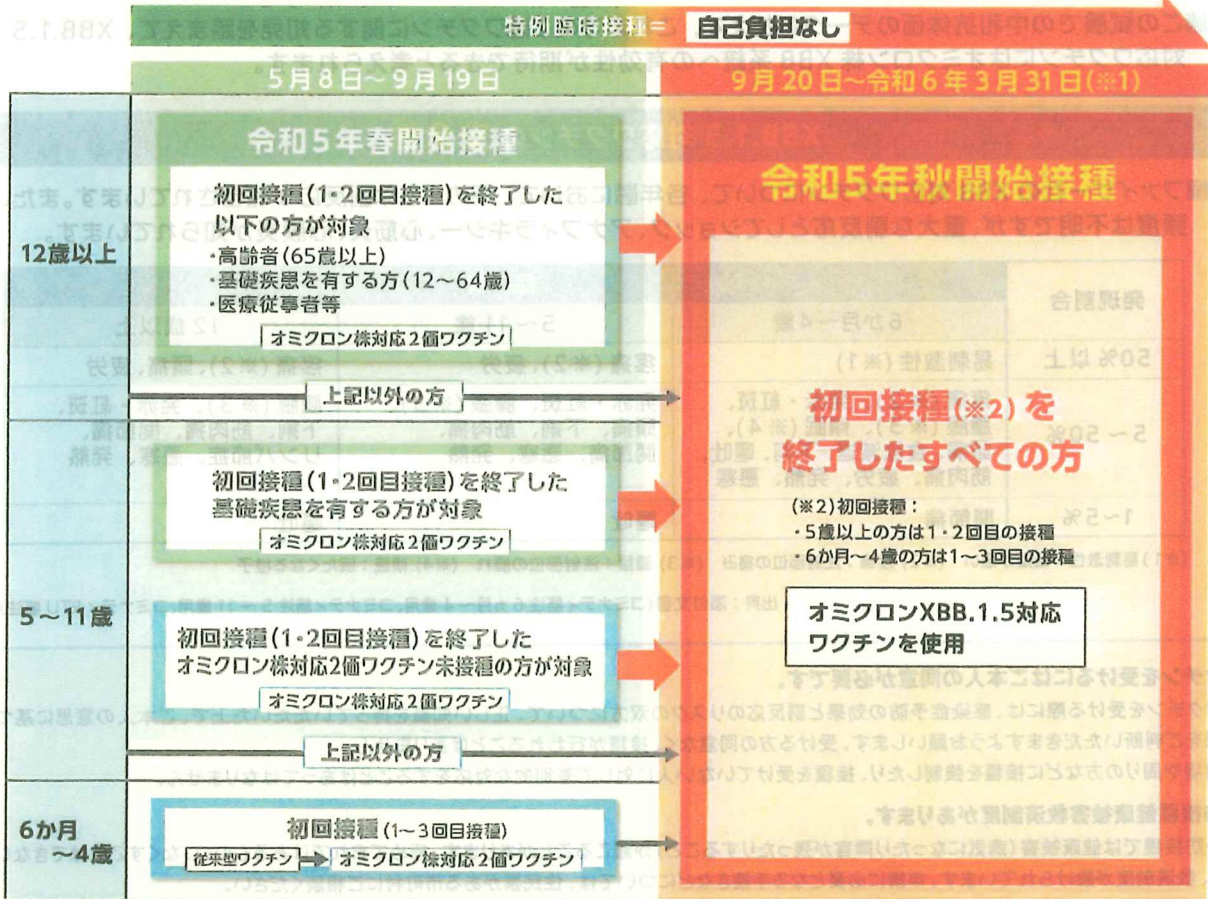
オミクロン株(XBB.1.5)に対応した ワクチンの接種が始まります。



詳しくは市町村からの案内をご確認ください。

オミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチン接種対象と接種開始時期

- 9月20日以降、生後6か月以上のすべての方に対して、新型コロナのオミクロン株(XBB.1.5)に対応した1価ワクチン(XBB.1.5対応ワクチン)の接種が始まります。
- 初回接種がまだの方は、9月20日以降はXBB.1.5対応ワクチンでの初回接種となります。



注：接種回数や接種証明については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

(※1)特別臨時接種の実施期間は令和6年3月31日までです。

初回接種がまだの方

9月20日以降は、XBB.1.5対応ワクチンでの初回接種となります。詳しくは自治体にご確認ください。まずは、初回接種を受けてください。

これまで3年間、年末年始に新型コロナは流行しています。

令和5年秋以降、重症化リスクの高い高齢者等にはXBB.1.5対応ワクチンの接種をおすすめします。若い方も接種できます。

〈日本国内の新規感染者数(1日ごと)〉



XBB.1.5 対応ワクチンの効果

- 非臨床試験において、追加接種(4回目接種)として、XBB.1.5 対応ワクチンを投与したマウスでは、投与の1か月後にオミクロン株 XBB 系統(XBB.1.5、XBB.1.16、XBB.1.16.1、XBB.2.3)に対して中和抗体の誘導が認められました。
出典：薬事・食品衛生審議会提出資料
- この試験での中和抗体価のデータに加えて、これまでの2価ワクチンに関する知見を踏まえて、XBB.1.5 対応ワクチンにはオミクロン株 XBB 系統への有効性が期待できると考えられます。

XBB.1.5 対応ワクチンの安全性

- ファイザー社の XBB 対応ワクチンについて、各年齢において、下のような副反応が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副反応としてショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎が知られています。

発現割合	症 状		
	6か月～4歳	5～11歳	12歳以上
50%以上	易刺激性(※1)	疼痛(※2)、疲労	疼痛(※2)、頭痛、疲労
5～50%	疼痛(※2)、発赤・紅斑、腫脹(※3)、傾眠(※4)、頭痛、食欲減退、下痢、嘔吐、筋肉痛、疲労、発熱、悪寒	発赤・紅斑、腫脹(※3)、頭痛、下痢、筋肉痛、関節痛、悪寒、発熱	腫脹(※3)、発赤・紅斑、下痢、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、発熱
1～5%	関節痛	嘔吐	嘔吐

(※1)易刺激性：機嫌が悪い (※2)疼痛：注射部位の痛み (※3)腫脹：注射部位の腫れ (※4)傾眠：眠たくなる様子

出典：添付文書(コミュニティ筋注6ヵ月～4歳用、コミュニティ筋注5～11歳用、コミュニティRTU筋注)

◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村にご相談ください。